

## 四国中央支部例会

社員の突然のうつ病トラブル対策に!  
これだけは知っておきたい公的制度活用による対策法  
～イノベーションは身近なところにあります～

### ■報告者 大西 英樹 氏

(有)大西保険事務所 代表取締役  
(愛媛同友会 四国中央支部 幹事)

- と き / 3月15日(金)      ●参加人数 : 12名
- と ころ / ホテルグランフォーレ

45年前に父が創業した、(有)大西保険事務所に後継者として入った大西さんは、今までの保険代理店業務に、医療・がん保険などのラインナップを増やし、更には大西さん自身が社会保険労務士の資格も取得し、様々な切り口で精力的にお客様をサポートしていきました。

ただ、仕事を通して、「そもそも体が悪い方たちは、保険に入ることができない。生活を保障する手段が、健康な方に比べ圧倒的に不利な立場にいる。こういった方たちを何とか救う手立てはないか?」と常々考えていたそうです。そしてこの公的年金制度(障害年金)を知り、これらの紹介・受給支援をしていくことで、社員のうつ、統合失調症などのメンタルヘルス対策に悩んでいる経営者のサポートや、個人の方に対し保険ではできなかったサービスの提供が可能となることに気付いた大西さんは、新たに「社団法人愛媛障害年金センター」を立ち上げ、益々精力的に活動しています。

お客にとって良し、今まで顧客となり得なかった人たちが顧客となることで、自社の経営にとっても良し、今までライバルだった保険代理店とタイアップし、公的年金制度の紹介・受給までの難しい実務支援をすることで、ライバルにとっても良し、広く障害年金が知られることで社会にも良し。このように本当に素晴らしい事業の柱に成長した原点には、「お客様を救いたい、良くしてあげたい」という「思い」を持ち続けていること。そこにイノベーションが生まれるのだと強く感じました。

寄稿 : 森実大知さん (有)森実工業 / 四国中央支部)



報告する大西さん、左は座長の菰田晃伸さん